

秋山あたる

立憲民主党千葉県議会議員会

千葉県議会議員
(若葉区選出)



mail : info@akiyama-ataru.com
web : <https://akiyama-ataru.com>

第11号
議会報告
特別対談



みなさまこんにちは

千葉県議会議員千葉市若葉区選出の秋山あたるです。

千葉県議会では年に一回登壇の機会がありますが、12月議会に二回目の登壇の機会がありました。

その際に千葉県知事に対し質問した内容の一部をご報告します。

この他にも、千葉県子ども計画の策定、部活動の地域移行化、防災対策、鳥獣被害対策、自転車の飲酒運転取り締まりについて取り上げています。

全容は千葉県議会の動画のアーカイブや議事録をご覧ください幸いです。



CDR(チャイルド・デス・レビュー)の取組について

秋山あたる

CDRとは、子どもが亡くなった際に、医療機関や行政をはじめとする複数の機関・専門家が連携して、事例を検証し、再発防止策を導き出す取り組みです。子どもの命を守るため、千葉県でも積極的に進めるべきと考えますが、現状の取り組みはどうなっていますか？

執行部

国は令和2年度からモデル事業を開始し、10の都道府県で試験的に実施しています。しかし、司法・検察との情報共有の課題や、家族の同意の必要性などの問題があります。千葉県としても国の動向を注視し、他県の事例を参考にしながら、県内の中核的医療機関等の関係機関と体制整備に向け意見交換を進めています。

秋山

千葉県では年間約200人の18歳未満の子どもが亡くなっています。子供の事故を予防し命を守るため、千葉県でも国の子どもの死亡検証体制整備モデル事業を実施し、CDRの取組を推進するよう要望します。

多文化共生について

秋山

千葉県の人口約630万人のうち、外国人は約20万人で、県全体の約3%を占めています。今後も増加が見込まれる中、外国人が安心して暮らし、働ける環境を整えることが重要です。そのためには、日本語教育の充実が不可欠ですが、指導者の確保について県はどのように取り組んでいますか？

執行部

県では専門コーディネーターを配置し、日本語教室の運営支援や指導者育成に取り組んでいます。また、日本語ボランティアの研修や、市町村への経費補助を実施。今年度は、地域日本語教育の重要性を広めるフォーラムを初開催し、人材確保のための取り組みも進めています。

秋山

外国人が日本で活動するため相互理解は、不可欠です。千葉県の発展に寄与するために地域日本語教育の充実と支援体制の強化を引き続き進めるよう要望します。

地域公共交通について

秋山

高齢化が進む地域では、病院や買い物に行くのが困難な方が増えています。千葉県では交通担当部長を設置し、重点的に対策を進めていますが、特に路線バスの運転手不足が深刻です。運転手の確保に向けた取り組みについて教えてください。

執行部

県はバス事業者と連携し、来年2月に都内のイベントホール、3



月には幕張メッセで合同企業説明会を開催予定です。また、離職した運転手の再雇用促進など、事業者向けの支援も進めています。

秋山

千葉市若葉区をはじめ、県内には公共交通の運転手確保の問題を抱えた地域が多くあります。今後も公共交通の維持に向けた取り組みを継続していただくよう要望します。

国家戦略特区制度を用いた千葉県の発展について

千葉県知事・熊谷俊人さんとの対談をしました。

国家戦略特区制度を活用した千葉県の発展について、成田空港を核とした産業集積、かずさアカデミアパークや柏の葉キャンパスの拠点整備など、規制緩和を通じた地域活性化の展望をお話いただきました。

秋山

そもそも国家戦略特区制度とは何でしょうか？すごそうなネーミングをしていますが(笑)

熊谷

国家戦略特区制度は、世界で一番ビジネスがしやすい環境を創出することを目的に地域や分野を限定して大胆な規制・制度の緩和を行う規制改革制度です。

好事例となれば全国で活用できる仕組みとなっています。

秋山

ルールを緩和してよりビジネスしやすい環境を作る制度なんです。千葉市長時代では幕張を中心に実証実験を行い先進的な取り組みをしてきましたが、

千葉県においても各地域に合わせた国家戦略特区を用いて取り組んでいくことは地域の発展さらには千葉県の発展につながると考えますが、県知事はどのように考え



ていますか？

熊谷

千葉市においては、宅配ドローンや自動運転モビリティなどさまざまな事業を行ってきました。

千葉県においても、成田空港を核とした物流・産業機能の集積や、民間投資の促進へ向けた取組を、より広域的な観点から展開するため、成田市、千葉市を対象とした現行の国家戦略特区を千葉県全域に拡大し、規制・制度改革の取組を支援するべく、現在国と協議中です。

秋山

成田空港の他に千葉県の中で知事として注目している拠点となる箇所はどのような場所でしょうか。

熊谷

その他にもかずさアカデミアパークや柏の葉キャンパスがあります。

かずさアカデミアパークでは昨年、放射性医薬品の製造拠点の立地が決定し、約100億円規模の投資が行われます。柏の葉キャンパスは大学、医療機関が集積し、こちらも様々な先端企業の立地が続いています。

もちろん、千葉市の幕張新都心も重要拠点の一つです。企業等からのニーズを踏まえた提案を検討し、今後も規制緩和に資する取組をしていきたいです。

秋山

千葉県の経済的発展のためにぜひ頑張ってください！

千葉県と千葉市の連携について

千葉市長・神谷俊一さんとの対談をしました。

千葉県と千葉市の連携強化について、消防ヘリコプターの共同運航や、水道事業の統合による経営改善など、県市連携の具体的な成果と今後の展望をお話いただきました。

秋山

これまで千葉県の要請により千葉市の消防ヘリコプターが災害時の情報収集などで活用されていましたがその費用は千葉市が負担していました。神谷市長が就任されてから熊谷知事と協議を行った結果消防ヘリコプター共同運航が決まり、県も一部の費用を負担することになりました。県市間における連携の一つの成果だと思いますが、もう一つの課題として千葉市水道があります。

千葉市の一部のエリアでは千葉市水道局が管轄しており経営難と聞いていますがこの辺りはいかがですか。



神谷

千葉市では市街化調整区域など人口密度の低い地域を含む市域面積の約30%、人口で約4万5000人分の水を供給しています。効率よく供給できないため、千葉市水道の経営は大変厳しい状況となっています。

秋山

なるほど。水は人が生活する上で絶対に欠かせないものなだけに難しい問題ですね。

昨年11月の千葉県と千葉市における連携推進会議で水道についても話し合いましたがどのような内容でしたか？



神谷

九十九里地域と南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道の統合により、県企業局の施設になる予定の長柄浄水場から第三者委託での千葉市営水道への送水について、詳細条件を検討していくことになりました。これにより千葉市の未活用水源の活用による水源費用の二重負担の解消や老朽化した土気浄水場の廃止が可能となり、給水コストの縮減につながります。

秋山

双方がメリットある形で話が進んでいるんですね。

今まで県市間での連携があまり見られませんでした。神谷市長と熊谷知事が誕生してからこの4年間で千葉県と千葉市の連携が密になり、千葉市にとって大きな課題である水道事業も着実によくなっていることがわかりました。

私も千葉県と千葉市が引き続き連携して相互の発展につながるよう尽力していきます！

ご支援・ご協力をお願い

秋山あたるは、誰もが「住んでよかった!」と感じるまちづくりを目指しています。応援いただける方は、右記QRコードの登録、または事務所までご連絡ください。ご意見やコメントもお待ちしております。



秋山あたる



あたるレポートNo.11

発行元：秋山あたる後援会

〒264-0028

千葉市若葉区桜木 7-13-2 第5ライブラリービル 402

電話番号 090-3819-3784